



Best of Garage House 100
 011
 静岡県 S邸
 設計 株式会社平成建設

スライド式リフトを使うことで、 効率よくスペースを活用する。

photo / Masayuki-YOSHIMI(吉見雅幸) text / Den-KOMATSU(小松 聡)

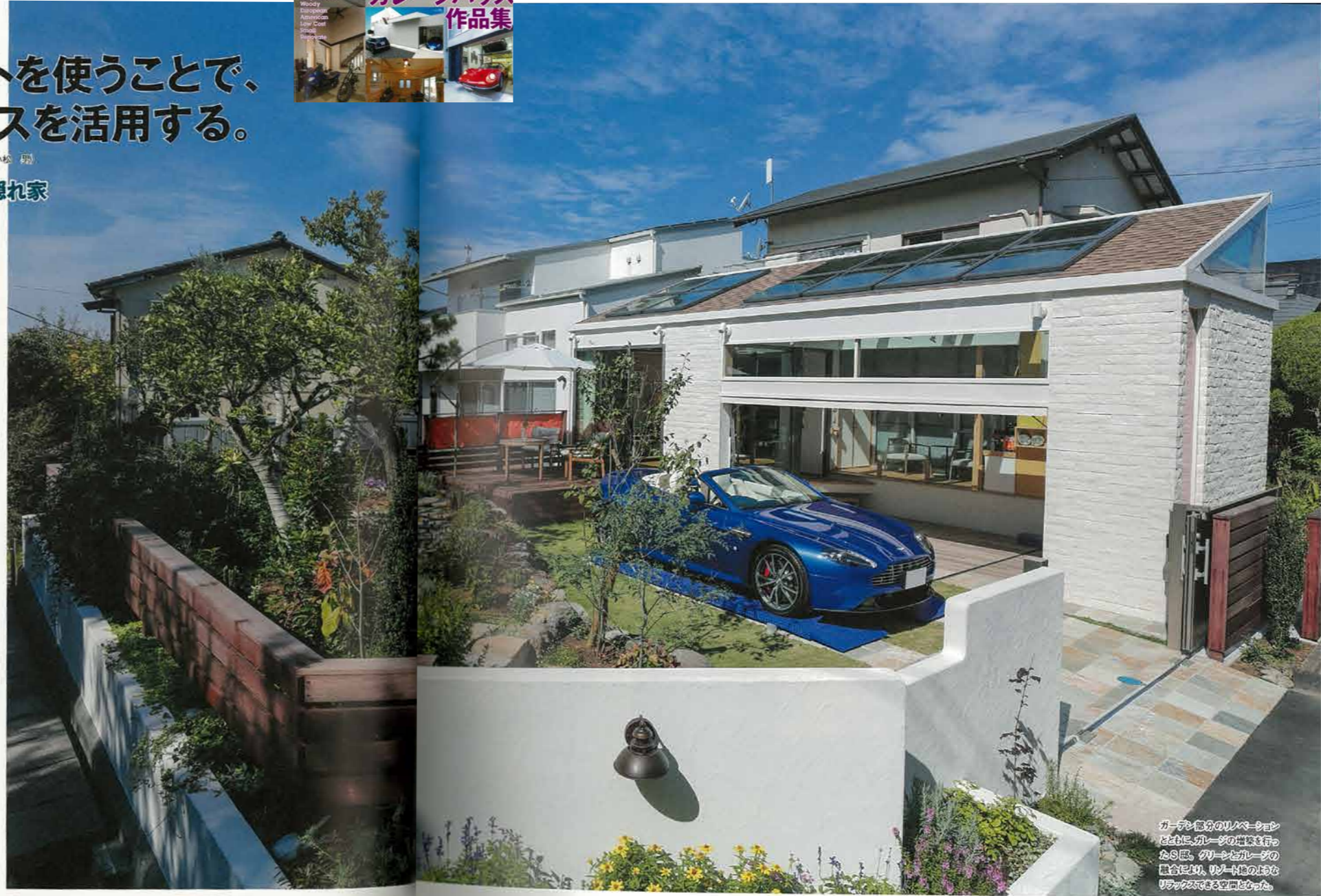
映画007さながらのギミックが散りばめられた隠れ家

ここで紹介するガレージオーナーのSさんがガレージライフに興味を持ったのは、本誌の兄弟媒体であるGarageLife誌の4号を手にとったときだったと言うから、もうかれこれ15年以上前のことだ。当時はガレージを実現することもなく仕事の関係で海外赴任することになった。それから十数年という長い年月が経ち、ついに日本に帰ることが決まった。

日本へと帰国するまでに何とかガレージを完成させておきたかったというSさんは、地元同級生が営む「平成建設」に相談を持ち込んだ。日本と赴任先を何度か行き来しながら、自分の思い描くガレージ像や、もう購入することが決まっていたクルマのことなどを告げて、徐々に形にしてゆく。「赴任先では自分で運転することが許されていませんでしたので、日本に戻ったら存分にカーライフを満喫したかったのです。今回両親が建てた家の修繕とあわせてガレージを作ることにしたのですが、色々調べたところ敷地の半分以上が市街化調整区域で建築できないことが分かり、想定していたガレージは実現できないこ

とになりました。その間も平成建設とはミーティングを繰り返し、たどり着いたのがスライド式のリフトだったのです」とSさん。昔はAE86などに搭載されていた4AGエンジンや、マツダ・787(ルマン優勝マシン)に採用されたパーツの設計などにも携わっていたことあるSさんのこだわりは、ガレージの細部に行き渡っている。

アストンマーティンの幅にぴったり揃えられたガレージは、取り立てて大きいものではないのだが、ガレージ作りと同時に整備されたガーデン部分のおかげで、とてもゆとりを感じさせるものとなっている。それとあわせて開放感を与えているのは、目一杯採光窓を取り入れていることだろう。日本でも古くから親しまれているベルックス製の天窓をガレージ及びプライベートルムの屋根部分ほぼ一面に設置。太陽光が強すぎればブラインドを、換気の際には窓を開け、夜間は星空を楽しむといった動作がスイッチひとつでできる容易なものとなっているなど、素敵なガレージに纏められている。



ガレージ部分のリフトベーンと並ぶには、ガレージの増設を行ったS邸。クレーンとガレージの組合せで、リフト式の大きなリフトが使える空間となった。



横移動タイプのリフトをオーダーメイドしている。市街化調整区域の建築基準に合わせるための工夫であるとともに、見た目にも個性的かつ特徴のあるガレージとなっている。



写真奥側となるガレージ奥にはSさんの趣味を凝縮したプライベートルームを設けた。ガレージ部分にベルックスの天窓が使われており、とても明るく。



日本のアングルマとして使っているのはフィアット・500。限定モデルのカラーリングに愛されたSさんと話した。ゆくゆくはクラシックモデルも所有したいとのこと。



ガレージは天井が高く設定されており、開放感があるのが印象的だ。クルマ、オーディオ、写真、楽器演奏など、趣味が詰まったガレージとなっている。



[Planning Data]
 施主:Sさん
 家族:2人家族
 所在地:静岡県
 竣工:2015年3月
 敷地面積:216.40㎡
 延床面積:158.71㎡のうち増築部40.34㎡
 ガレージ部面積:20㎡
 構造:木造軸組
 外装:仕上げタイル
 内装:仕上げタイル、ホタテペイント、クロス、ベンジミンムアペイント
 愛車:2015年式 アストンマーティン・バンテージSロードスター
 2015年式 フィアット・500
 2013年式 メルセデスベンツ・E350クーペ

[Architect]
 株式会社 平成建設
 静岡県沼津市大岡1540-1
 Phone:055-962-1000
 http://www.heisei-kensetu.co.jp/

1F